

# 小学生ツバメ国際キャンプ in 韓国

(令和元年(2019年))

## 報告書

子どもたちの自然を愛護する心や、生き物への関心を育むことをねらいとして石川県で実施しているツバメ調査を参考に、韓国、台湾でも調査が始まったことを受け、3か国の子どもたちが相互訪問し、ツバメを通して国際交流を図ることを目的として実施しました。

期 間 令和元年8月20日(火)～23日(金) (19日(月)金沢市内で事前研修会)  
場 所 韓 国：昌原コンベンションセンター、ボンハトレニングセンター  
国立金海博物館、金海民族博物館、首露王陵  
主 催 日本：石川県・石川県健民運動推進本部  
韓国：慶尚南道教育庁、慶尚南道ラムサール環境財団  
後 援 石川県教育委員会  
参 加 者 日本：田上小(金沢市)、蛸島小(珠洲市)、山代小(加賀市)、鶴ヶ丘小(内灘町)、  
松波小(能登町) 5校10名 教諭5名 事務局2名  
韓国：児童17名 教諭4名 運営スタッフ10名  
台湾：児童12名 教諭5名 事務局2名



## 日 程 表

月 日	内 容	備 考
8月19日(月)	・事前研修会	金沢市内ホテル
8月20日(火)	・金沢駅～中部国際空港～釜山金海国際空港～ 宿泊施設（ボンハトレーニングセンター）	※22日まで同センター に宿泊
8月21日(水)	・各国ツバメ調査発表(1日目)	昌原コンベンション センター
	・生物多様性体験学習	ボンハトレーニング センター
	・韓国伝統文化体験学習（仮面舞踏体験）	
8月22日(木)	・韓国ツバメの生態学講義	
	・各国ツバメ調査発表(2日目)	昌原コンベンション センター
	・国立金海博物館、金海民族博物館、首露王陵見学	金海市内
8月23日(金)	・釜山金海国際空港～中部国際空港～金沢駅	到着後解散

### 8月19日（月）（出発前日）

金沢市内で事前研修会を開催し、自己紹介やパワーポイントを使った各学校のツバメ調査発表の練習、韓国の習慣、言語の学習などをした。



8月20日（火）

金沢市内から中部国際空港（名古屋市）へ移動し、釜山金海国際空港へ向かった。



【釜山金海国際空港に到着】



8月21日（水）

昌原コンベンションセンターにて、開会式があり、慶尚南道ラムサール環境財団代表理事のリー・グンソン氏から歓迎の挨拶があった。

引き続き、日本・韓国・台湾のツバメ調査結果発表があった。発表は2日に分けて行われ、1日目は金沢市立田上小学校、珠洲市立蛸島小学校が発表した。

午後からは、ボンハトレニングセンターで生物多様性体験学習や韓国伝統文化体験などに参加した。



【田上小：大河原、小野】



【蛸島小：西、櫻田】



【生物多様性学習】（雨天により屋内にて学習）



【韓国伝統文化体験】（仮面製作、舞踊体験）

8月22日（木）

前日同様、昌原コンベンションセンターで、加賀市立山代小学校、内灘町立鶴ヶ丘小学校、能登町立松波小学校が発表した。2日間で韓国(6)、石川(5)、台湾(4)併せて15の発表があった。

午後は、市内へ移動し国立金海博物館や金海民族博物館などを訪問し、韓国の歴史文化を学んだ。



【山代小：田中、嶋田】



【鶴ヶ丘小：橋本、根布長】



【松波小：新谷、金七】



各国の作品



キャンプ冊子



【国立金海博物館】 韓国の伝統、歴史、文化を学習



「つばめの歌」を披露

【交流会】



レクリエーション (手つなぎゲーム)

8月23日 (金)

宿泊施設から釜山金海国際空港へ向かい、大韓航空にて帰国の途についた。







ツバメ国際キャンプin韓国に参加して  
珠洲市立蛸島小 6年 櫻田 麻優子

ツバメ国際キャンプin韓国に参加して  
珠洲市立蛸島小 6年 西 陽翔

ツバメ調査の発表を聞いて、韓国や台湾のツバメ調査について知ることができて、よかったです。発表の中には、ツバメの巣の固さについて調べたり、フンの成分を調べて、ツバメの食べ物の違いと周りの環境の違いについて考えたりした内容があり、聞いていて面白かったです。

このキャンプを通して一番楽しかったのは、最後の送別会です。理由は、韓国や台湾の子たちと、仲良く遊べて、友達になれたからです。一緒に手をつないでゲームをしたり、お互いの国のお菓子を食べてりして、楽しみました。

ツバメのことを学習し、石川県の友達や、韓国や台湾と子ども達とも友達になれ、たくさんの思い出ができたツバメキャンプでした。

ツバメキャンプに参加して、韓国や台湾の人たちと友達になれたのが一番の思い出です。僕は、人見知りで、初めは、なかなか自分から声をかけることができませんでした。各学校のツバメの発表を聞いたり、同じ部屋だった台湾の子と遊んだりしているうちに、遊んだり話をしたりできるようになりました。ツバメ調査の発表は、どの学校も映像があり、わかりやすく、勉強になりました。

僕は韓国語も中国語も話せません。でも、UNOを韓国の人としたら、言葉で話さなくても、動作で遊びのルールが伝わりました。言葉が通じなくても仲良くなれることが分かりました。

また、韓国や台湾の人と会いたいなと思いました。







6年 金七 智也

6年 新谷 和奏

ツバメ国際キャンプin韓国 金七 智也

ツバメ国際キャンプin韓国 新谷 和奏



ぼくは、韓国台湾の人達のツバメ調査の発表を聞いて、感じたことは2つあります。まず1つ目は、原こうを見ないで発表していたことです。2つ目は、はっきりしゃべっていたことです。楽しかったことは、22日のレクリエーションです。日本語をしゃべれなくても英語とかを使って、何とかしゃべれたのでよかったです。ゲームで優秀賞をもらったのもうれしかったです。でも、グループでは、2位だったからくやしかったです。もう会えないと思うと、少し悲しいです。でも、外国の人達との交流なんて全然したことがなかったので、楽しかったです。また、こんな機会があったらうれしいです。

私がツバメ調査の発表を聞いて、それぞれの国が調査したことを1つのスライドショーにまとめたのがすごいいいと思いました。国ごとに調べるものがちがっていたりして、おもしろかったし、とても分かりやすかったです。自分たちの発表では、少し早口になってしまったけど、ちゃんとみんなに伝えられてよかったです。他の日本の発表もすごかったです。キャンプで楽しかったことは、韓国の人と台湾の人と仲良くできたことです。いっしょに写真をとったりして、楽しかったです。日本のお菓子を韓国の人にあげると、「おいしい。」と言ってくれて、うれしかったです。また、このキャンプに参加して、韓国の人といっしょに遊んだり交流したりしたいと思いました。本当にありがとうございました。

# ツバメ新聞

## 調査結果

成鳥	使用	古巣	
H30	105	62	52
H31	86	71	126

成鳥はへっているのに使用中の巣と古巣が増えています。これは、その時用いているツバメが多くて、カフンされてないツバメが多いためかもしれません。

### 来るといいな! 商店街にも

- ガラスバスター ツバメをガラスから守るために使っている。
- ツバメ専用のまよ 夜でも、ツバメだけが出入りできるためにあります。
- ふんをぬぐって ぶんをいれんなどおこなふとささいはうにかけてる。

### 成相心

このツバメ調査をして、今の大きさに気づきました。昔はツバメが少なかったけど、今はこんなに増えています。これは、昔はツバメが少なかったから、今は増えているからだと思います。

# ツバメ新聞

## 調査結果

成鳥	使用	古巣	
H30	75	2	12
H31	95	0	1

### 祖母にインタビュー!

Q 何年前から来ている?  
A 20年以上前から来ている。

Q カラスにおそわれた時、どうしている?  
A ツバメは巣を壊して、おそわれないようにして、自分たちは、テープなどをつけておそわれないようにしている。

Q ツバメは何回くさいたかごも産む?  
A 2回くさいた産んで子育てをします。

### 私の町のツバメの様子

- ツバメの巣ができた場所
- ツバメの巣が壊された場所

この町には、ツバメの巣がいくつかあります。でも、カラスや人間によって壊れてしまっています。ツバメは、巣を壊されると、子育てができなくなります。私たちは、ツバメの巣を守りたいです。

## 引率教諭の感想

- ・ 一番感じたことは言葉の壁が大きいということだ。子どもも先生も意欲的に参加する姿勢を見せているが、この壁がなければなという思いが残った。それでも、子どもたちのボディランゲージを駆使し、段々とコミュニケーションがとれるようになっていく姿が印象的だった。別れを惜しむ子どもたちの姿が、今回の研修が子どもたちにとって有意義だったかどうかを物語っていたと思う。
- ・ 韓国、日本、台湾の児童によるツバメ調査に関するそれぞれの取組では、いろいろな切り口があり、小学生の目線でのわかりやすい発表で、大変勉強になりました。発表後の質問には、小学生だけでなく、大人の研究者からの質問もあり、ツバメ調査というのは、子どもから大人まで一緒に学べる奥の深い教材であることが分かりました。韓国や台湾の児童とも仲良くなり、お互いの持ち寄ったお菓子や遊び道具を通して、交流しました。このツバメ国際キャンプを通して、児童は精神的に一回り大きくなったように感じます。
- ・ このツバメ国際キャンプでは、各学校のツバメ調査の実態や、ツバメの生態について詳しく知ることができ、また国境を越えて他国のツバメの様子も知ることができ、子ども達にとってもとても実りのある発表会だったと思います。この発表会を通して、子ども達がもっとツバメに興味をもち、これから先もツバメを守っていくためにできることを、自分達だけでなく学校全体、地域の人たちにも広めながら、進んで取り組んでいってほしいと思います。
- ・ 各国、各学校のツバメの研究の深さに驚かされた。毎年行っているツバメ調査の内容だけでなく、プラスチックの研究を用意しておく必要を感じた。児童たちは5日間、特別な経験をする事ができ、一生に関わる体験をすることができたと思う。そういった体験や、思い出がさらにより良く、より深くなるようにこれからも改善していきたい。この経験を生かし自分自身も、児童たちも成長していきたいと思う。
- ・ 韓国のスタッフや通訳の方々が大変親切で、私たちが楽しんでいるか、困っていないかということに常に意識されていると思いました。ツバメ調査の報告では、台湾や韓国の調査やプレゼン力のレベルの高さを感じました。また、石川県の児童が質問をしたのは本当に素晴らしかったです。このような緊張場面で積極的に学ぼうとする姿勢は、他の児童の大きな刺激になったのではないのでしょうか。

引率教諭の皆様ありがとうございました。

## ツバメ調査を通じた韓国・台湾との主な交流の歩み

年	月日	内容	開催場所
H24(2012)	8. 17	韓国慶尚南道の小学校教諭が来県	石川県庁
H25(2013)	2. 14	小松市立日末小学校と慶尚南道ウサン小、ポンゴク小の計3校でインターネットを使ったテレビ交流を実施	小松市・韓国慶尚南道
	7. 29～8. 2	県内5市1町19名の小学生(教諭3名)が韓国を訪問(ツバメ調査・発表、馬山湾クルーズ、家庭訪問他)	韓国慶尚南道 ウサン小学校周辺
H26(2014)	7. 26～28	韓国9小学校15名(教諭6名)、台湾1名(教諭1名)と県内2市9人の小学生(教諭3名)が交流(ツバメ調査・発表、ツバメフォーラム参加、金箔工芸体験他)	石川県内各地 (金沢市、加賀市他)
H28(2016)	5. 12～15	台湾台中市高美小学校6名(中学生12名、教諭1名)が石川県を訪問(ツバメ調査、学校訪問、金沢文化体験他)	石川県庁、中海小 兼六園、湯涌温泉他
	7. 24～28	県内3市1町の小学生10名(教諭5名)と台湾小学生11名(教諭3名)が韓国を訪問(ツバメ調査・発表他)	韓国慶尚南道 ウポ湿地周辺
H29(2017)	7. 31～8. 3	県内4市1町の小学生10名(教諭5名)、中学生ボランティア8名と韓国小学生10名(教諭他7名)、台湾小中学生12名(教諭他15名)が交流(ツバメ調査・発表、里山里海体験、能登の祭り体験他)	石川県能登町
H30(2018)	8. 21～25	県内3市1町の小学生10名(教諭5名)、韓国小学生10名(教諭9名)、台湾小学生22名(教諭6名)が交流(ツバメ調査結果発表、ツバメの巣の調査、中元祭の参加、五股湿地のねぐら調査他)	台湾基隆市

## 石川県健民運動推進本部

石川県金沢市鞍月1-1 TEL 076-225-1365 FAX 225-1363

※[健民運動](#) [検索](#) ホームページもご覧ください。